

涼新た蠍座の尾の先までも

悠

天体と言うスケールの大きい句材を詠んでいて、かつ繊細な感覚を伝える季語を斡旋したことで、意外性のある一句となった。特に「先までも」の措辞が実感であると同時に熟練の技を見せている。